

国際法務総合センター開所記念アジア研・ICD講演会を開催しました

国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）と法務総合研究所国際協力部（ICD）は、平成29年10月2日、東京都昭島市内の国際法務総合センター国際棟に移転して業務を開始しました。

法務省における国際協力事業を担う両部門がそろって新庁舎に移転したことを記念し、同年11月27日、同センター全体の落成式に引き続き、国際棟の国際会議場において、記念講演会を行いました。



（記念講演会の様子）

記念講演会には、葉梨康弘法務副大臣及び山下貴司法務大臣政務官を始めとする法務省関係者が出席したほか、法務省の国際協力事業のパートナーである独立行政法人国際協力機構（JICA）、裁判所、関係省庁、弁護士会、大学、公益財団法人アジア刑政財団及び公益財団法人国際民商事法センター等の関係者の方々や、関係各国の大使や外交団の方々に御列席いただきました。



（葉梨法務副大臣の挨拶の様子）

当日は、葉梨康弘法務副大臣と佐久間達哉法務総合研究所長による挨拶、JICAの前田秀理事による祝辞に続き、国際民商事法センターの宮原賢次会長と、元国連薬物・犯罪事務所条約局長エドワード・ベテレ博士という、法務省の国際協力事業を長年にわたり支援してくださったお二方から、それぞれ、「国際民商事法センターの20年とこれからの法制度整備支援」、「犯罪防止刑事司法分野における国連の挑戦：UNAFEIの役割 - これまでとこれから」と題して、素晴らしい講演を頂きました。



（佐久間所長の式辞の様子）



（前田理事からの祝辞の様子）



（宮原会長の講演の様子）



（ベテレ博士の講演の様子）

さらに、海外からも、UNAFEIと同じ国連の犯罪防止・刑事司法プログラム・ネットワーク機関であるタイ法務研究所の所長であり、UNAFEI卒業生でもあるキティポン・キタヤラク博士と、法務省にとって初めての法制度整備支援対象国であるベトナム社会主義共和国のハー・フン・クオン前司法大臣から、心温まる祝福のビデオメッセージを頂くなど、国際棟の門出にふさわしい講演会となりました。



（[ここをクリックするとキティポン博士のビデオメッセージをご覧ください。](#)）



（[ここをクリックするとクオン前司法大臣のビデオメッセージをご覧ください。](#)）

UNAFEIとICDが行う事業は、刑事法分野と民商事法分野において、各国における法の支配を促進し、その国の安定と発展を通じて、その地域の繁栄、さらには国際社会全体の平和と安全に貢献するものです。

これまで別々の所在地に本拠を置いて活動してきたUNAFEIとICDが、国際法務総合センター国際棟において共に業務を行うようになったことをいかし、両部門の知識・経験を共有し、緊密に連携・協力して、一層充実した国際協力事業を展開してまいります。